

平成29年度 第6回深川市子ども・子育て審議会

〔日時：平成29年9月21日（木）午後6時30分～7時00分〕
〔場所：デ・アイ リハビリルーム〕

出席委員：渡辺子ども・子育て審議会長、浦山副会長、細川委員、余合委員、西山委員、松浦委員、関委員、高島委員、高橋委員、我部山委員、浅見委員、野村委員、吉村委員、桐山委員、轡田委員

事務局：三ツ井市民福祉部長、荒井社会福祉課長、高瀬子育て支援推進室長、横井子育て支援推進室次長、藪調査員、小山主査

計21名

欠席委員：榎本委員、笹口委員

1. 会長あいさつ

本日は答申案の最後審議となり、結果はのち市長に報告します。

2. 議題

(1) 市立保育所の今後のあり方について

答申案の内容について 資料1

【説明：藪調査員】

新旧対照表で、前回の答申素案内容との変更点を説明。

半角文字から全角文字へ、誤記の説明は省略。

5ページの子育て支援センターについて、本市では、1箇所のため「中核拠点」を「拠点」へと修正した。

子育て支援センターについては、「体制の充実を図るとともに、保育所との相互連携に努める必要があり、さらに、多くの子育て世代の方々の利用拡大につなげていくため、積極的に周知に努める必要があると考えます。」とし、この記載変更については、委員の皆さんの了解をいただいております、「体制充実、相互連携」という表現に改めたほか、前回、市民周知するよう意見があったので加えました。最後のページ、「おわりに」の文章を、会長と調整して文案を記載しました。

【質疑・意見】 特になし

【会長】 特に意見なければ答申として決定します。

(2) その他

【説明：高瀬室長】

答申について、9月27日（水）14：30 渡辺会長と浦山副会長が市長に手渡しする予定。本文のほかに、委員名簿、審議日程、5月審議会でお示しした資料のうちから抜粋して添付する予定。

【質疑・意見】 特になし

3. その他

【説明：高瀬室長】

審議会委員の今期の任期は、9月30日をもって満了となり、多くの委員さんには、次期任期の継続を了承いただいたところ。

委嘱状の交付及び子ども・子育て支援計画の28年度実績など報告事項もあることから、任期開始月である10月中に開催させていただきたいと考えている。

改選後、初回審議会開催：平成29年10月12～13日のいずれかで調整。

【渡辺会長から、締めのことば】

本日の議事案件は全て終了しました。半年間にわたる審議、お疲れさまでした。

「答申」は、私が審議会を代表して、市長にお渡しいたします。

審議会の役目は、答申を出せば終了というわけではなく、今後、具体的な構想が示されていくと思います。ほとんどの委員が次の任期も継続されると伺っておりますので、引き続きよろしく申し上げます。

臨時委員の皆さんは、9月末をもって任期満了となります。

保護者の方たちは、保護者説明会などで、市の構想の内容を確認いただくこととなりますが、答申内容がより良い結果を生んでいくよう、委員あるいは、保護者というそれぞれの立場で関わっていただきたいと思います。

【三ツ井市民福祉部長から、お礼のことば】

委員の皆様には、「市立保育所のあり方について」、この半年間にわたり、ご審議いただきましたことに、市長に代わってお礼を申し上げます。

今回は、諮問に対し、拓大の先生をはじめ、保護者代表の方にもご意見を聞くべきと、各園から2名の保護者の方に臨時委員として加わっていただいた。また、市立保育所の視察を通して現状を把握していただいたこと、さらに、関委員には先進地視察へご同行いただくという、これまでにない試みを加えた半年間であったと思っております。

市では、今回の答申を受けた後、その具体化と推進に向け、方針・構想を固めていくこととなります。

その次には、保護者説明会などを進めていくこととなりますが、いずれにしましても、子どもたちの事を第一に考え、保護者や現場の職員などのご意見も伺いながら、不安な点があればその解消に努めてまいりたいと考えております。

次期任期の委員を承諾していただいた委員の皆さんには、新体制の審議会でも今後も、さらに具体的な取り組みなどについて、ご意見をいただく事になろうかと思いますが、よろしく願いいたします。

今後とも、本市の児童福祉及び保育行政の推進に、ご助力賜りますようお願い申し上げます。簡単でございますが、お礼のことばといたします。